

平成16年3月31日  
経済産業省

## 「環境 JIS の策定促進のアクションプログラム」の改定

### <ポイント>

- (1) 日本工業標準調査会（JISC）標準部会 第13回環境・資源循環専門委員会が平成16年3月25日に開催され、「環境 JIS の策定促進のアクションプログラム」を改定した。
- (2) 環境 JIS 策定中期計画に、新規テーマ41件を追加した結果、今後3年間を目処に標準化を進めていく標準化テーマの総件数は、217件となった。
- (3) 平成16年度中に JIS 制定・改正を目指すものについては、85件を目標とする。

### 1. 「環境 JIS 策定促進のアクションプログラム」の改定

- ・平成16年3月25日開催の日本工業標準調査会標準部会 第13回環境・資源循環専門委員会において、平成14年4月に策定した「環境 JIS 策定促進のアクションプログラム」を改定しました。
- ・同アクションプログラムは、環境 JIS 策定中期計画（平成16～18年度に JIS 規格を制定する標準化テーマ+その他検討すべき標準化テーマ）等より構成されており、3R（リデュース、リユース、リサイクル）配慮製品、省エネルギー機器等の普及、製品有害物質対策、環境汚染対策等の環境配慮を目的とした標準化を進めるものであり、毎年度改定することとしています。

（注）環境 JIS とは、3R（リデュース、リユース及びリサイクル）に資する規格に加えて、大気・水質等の排出濃度等の測定方法について規定する環境測定規格を含んだものの総称であり、環境保全に幅広く広く貢献。

### 2. 217件の標準化テーマを含む「環境 JIS 策定中期計画（平成16年度改定）」の決定

- ・「環境 JIS 策定中期計画（改定）」は別紙1に示すように、217件の標準化テーマ（新規は41件）から構成されています。（平成15年4月時点では207テーマ。）

#### 【環境 JIS 策定中期計画として追加された主な標準化テーマ】（全テーマ名は別紙2参照）

道路用鉄鋼スラグ、銅スラグ等（土木・建築）

スラグ類の化学物質試験方法（溶出量試験方法及び含有量試験方法）の JIS を制定するとともに、廃棄物溶融スラグに加えて、鉄鋼スラグ、銅スラグ等の製品の JIS に有害化学物質に関する基準を導入する。

鉛・クロムフリー水系さび止めペイント（材料）

鉛、クロムなどの重金属を含まない塗料に関する規格を作成し、塗料製品の環境配慮を促進する。

冷媒フロン回収機（機械）

フロン回収破壊法において義務付けられる冷媒フロン回収のための、回収機の性能基準を標準化することにより、フロンの適正な回収・破壊に資する。

省エネルギー基準達成率の算出方法及び表示方法（情報・電気）

省エネルギー法に基づくラベリング制度に、電子計算機、自動販売機等を追加し、個々の製品の目標基準達成率を省エネマークと数値で表示可能とすることにより、消費者の省エネ製品の選択の幅を広げる。

化学物質等安全データシート(MSDS)（環境）

国連勧告として統一された「化学物質の分類及び表示に関する世界調和システム」に基づき、既存の化学物質等安全データシート(MSDS)の JIS につき、必要な改正を行う。

- ・平成16年度は85件の制定・改正を目標とします（平成15年度実績は32件であり約2.7倍の増加。）

（お問い合わせ先）

産業技術環境局標準課環境生活標準化推進室

担当者：山内、永田

電話：03-3501-1511（内線 3426～7）

03-3501-9283（直通）

（参考）環境 JIS についての詳しい情報は、JISC（<http://www.jisc.go.jp>）の「環境 JIS のページ」をご参照下さい。

## (別紙1) 環境JIS策定中期計画(改定)の概要

平成15年4月に策定した中期計画で示した標準化テーマ(平成15年度中にJIS制定・改正又はTR公表したものを除く。)に、平成15年度中において、経済産業省の各部局を経由してJIS原案作成団体等から提案のあった標準化テーマを加えるとともに、当面実現困難であるものを削除するなどの必要な整理を行って作成したものを。

### 年度毎のテーマ数推移及び制定・改正テーマ数

		平成14年度	平成15年度	平成16年度	
<b>年度当初の総テーマ数</b> (3年程度を目途に規格化)		129	207	217	
	当該年度に制定 予定のテーマ数	38	45	85	<b>制定・改正 の累計</b>
<b>制定・改正数(注1)</b>		58	32	-	
<b>中期計画の見直し</b> (年度末)	追加	102	41	-	
	削除等(注2)	9	4	-	

注1: 当初予定外のテーマを含む。

注2: テーマの削除、統合等により減少したテーマ数。

### 分野別の標準化テーマ数

標準化テーマの分野別の件数(規格数ベース)は以下の通り。

土木・建築	32件(10)
材料	59件(9)
運輸・物流	26件(3)
機械	27件(7)
情報・電気	23件(2)
消費生活・安全	29件(4)
環境測定・廃棄物等	21件(6)
計	217件(41)

(\*) 日本工業標準調査会標準部会傘下の27の専門委員会を、7つの分野に大きく括った。括弧内の数は、今回追加された新規の標準化テーマの数。

### 環境政策上の必要性(社会ニーズ)に応じた分類

標準化テーマについて、環境政策上の必要性(社会ニーズ)の観点から分類したところ、下記のとおりとなった。

3R(リデュース、リユース及びリサイクル)の推進	55件(9)
地球温暖化対策	45件(11)
製品に係る有害化学物質対策	56件(11)
環境配慮設計	12件(2)
環境汚染(大気、水質、土壌等)対策	49件(8)
計	217件(41)

(\*\*) 括弧内の数は、今次改定に際して、追加された新規の標準化テーマ。

## (別紙2) 環境JIS策定中期計画(平成16年度改定)

分野	平成16年度	平成17～18年度	その他検討対象となる標準化テーマ
土木建築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スラグ類の溶出量試験方法</li> <li>・スラグ類の含有量試験方法</li> <li>・ノンフロン型発泡プラスチック保温材(A9511改正)</li> <li>・土木及び建築に用いるコンクリート用再生骨材</li> <li>・室内空気 - サンプルングの一般的な方法</li> <li>・室内空気 - ホルムアルデヒドのサンプルング方法</li> <li>・室内空気 - ホルムアルデヒド及び他のカルボニル化合物の定量 - アクティブサンプルング方法</li> <li>・室内、大気及び作業場の空気 - 吸着管 / 加熱脱着 / キャピラリーガスクロマトグラフ法による揮発性有機化合物の試料採集及び分析方法 - 第1部:ポンプサンプルング方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建具・家具等から放散するホルムアルデヒド類の測定方法(大形チャンバー法)並びに建築材料から放散するホルムアルデヒド類及びVOCの簡易測定方法</li> <li>・建築材料から放散するホルムアルデヒド類及び揮発性有機化合物(VOC)の放散量測定方法に関する試験条件等の群通則</li> <li>・室内空気汚染物質低減製品評価方法</li> <li>・木材及びプラスチック再生建材</li> <li>・道路用溶融スラグ骨材</li> <li>・コンクリート用溶融スラグ細骨材</li> <li>・環境調和型建材の性能評価試験方法</li> <li>・環境調和型建材の性能表示</li> <li>・断熱材におけるLCCO2の計算方法</li> <li>・再生プラスチック製車止め</li> <li>・再生プラスチック製道路用中央分離帯ブロック</li> <li>・<u>道路用鉄鋼スラグ 改正</u></li> <li>・<u>道路用フェロニッケルスラグ</u></li> <li>・<u>道路用銅スラグ</u></li> <li>・<u>建築材料中の石綿含有量の分析方法</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発砲プラスチック保温材及び吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材中のフロン含有率の測定方法</li> <li>・エコせっこうボード</li> <li>・セラミックス系高性能建材</li> <li>・<u>コンクリート構造物における塩害・中性化の近赤外線による非破壊・非接触計測方法</u></li> <li>・<u>FBGセンサーを利用した鉄鋼構造物のひずみ・亀裂発生・亀裂測定の多点同時計測方法</u></li> <li>・<u>構造物の劣化診断手法</u></li> <li>・<u>構造物の余寿命予測手法</u></li> <li>・<u>構造物のリスクベースメンテナンス手法</u></li> <li>・<u>木製サッシの性能試験方法</u></li> </ul>
材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃プラスチック熱分解油 - ボイラ用及びディーゼル発電機用 TS</li> <li>・軽油(K2204) 改正</li> <li>・自動車ガソリン(K2202) 改正</li> <li>・鉄鋼用アルミニウムドロス 改正</li> <li>・塗料及びワニスのVOC含有量の測定:ガスクロマトグラフ法</li> <li>・塗膜からの放散成分分析 - 揮発性有機化合物(VOC)、ホルムアルデヒド及びその他のカルボニル化合物</li> <li>・再生重油</li> <li>・燃料用ジメチルエーテル(DME)</li> <li>・分配係数(1-オクタノール/水)の測定 - 高速液体クロマトグラフ(HPLC)法</li> <li>・CFRP粉砕品の形状測定法</li> <li>・ Mild系のコンポジット特性測定法 改正</li> <li>・生分解性プラスチック製品の識別表示基準</li> <li>・プラスチック規格への環境側面の導入に関する指針 改正</li> <li>・電気亜鉛めっき及び電気カドミウムめっき上のクロメート皮膜 改正</li> <li>・銅及び銅合金鋳物 改正</li> <li>・銅合金連続鋳造鋳物 改正</li> <li>・リサイクル硬質塩化ビニル三層管</li> <li>・リサイクル硬質塩化ビニル発泡三層管</li> <li>・古紙パルプ - 反射光計測器によるきょう雑物測定方法</li> <li>・古紙パルプ - 粘着物及びプラスチックの測定方法 - 第1部:目視法</li> <li>・古紙パルプ - 粘着物及びプラスチックの測定方法 - 第2部:画像解析法</li> <li>・<u>金属材料の高温腐食試験方法通則</u></li> <li>・<u>金属材料の塩浸せき及び埋没高温腐食試験方法</u></li> <li>・<u>金属材料の塩塗布高温腐食試験方法</u></li> <li>・<u>金属材料の高温ガス腐食試験方法</u></li> <li>・<u>金属材料の電気化学的腐食試験方法</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・銅くず及び銅合金くずの分類基準(H2109) 改正</li> <li>・人工ゼオライトCEC(イオン交換容量)試験方法</li> <li>・人工ゼオライト安全性確認試験方法</li> <li>・光触媒の空気浄化性能に関する試験方法</li> <li>・光触媒のセルフクリーニング性能に関する試験方法</li> <li>・光触媒の水質浄化性能に関する試験方法</li> <li>・光触媒の抗菌・防かび性能に関する試験方法</li> <li>・ブラウン管ガラスカレット</li> <li>・廃棄物中の全臭素分析試験方法</li> <li>・ファインセラミックス多孔体の疲れ強さ試験方法</li> <li>・ファインセラミックス多孔体の熱衝撃試験方法</li> <li>・ファインセラミックス多孔体の液透過率試験方法</li> <li>・プラスチックの循環的利用に関するライフサイクルインベントリ調査</li> <li>・イオン伝導体の特性試験方法</li> <li>・生分解性高分子材料の標準物質</li> <li>・複層ガラス 改正</li> <li>・熱線反射ガラス 改正</li> <li>・マグネシウム及びマグネシウム合金中の鉛定量方法</li> <li>・マグネシウム及びマグネシウム合金中のわず定量方法</li> <li>・マグネシウム合金展伸材の微細組織の評価方法</li> <li>・コーティングにおけるき裂発生・進展挙動の定量的評価方法</li> <li>・き裂・はく離挙動の非破壊モニタリング方法</li> <li>・トップコート層 / アンダーコート層界面、及びコーティング層 / 基材合金界面の密着性評価方法</li> <li>・複合曲面体のヘミング試験方法</li> <li>・ヘミング部の限界の評価試験方法</li> <li>・カドミウムフリー銀ろう</li> <li>・<u>鉛・クロムフリー水系さび止めペイント</u></li> <li>・<u>はんだ - 化学成分及び形状 改正</u></li> <li>・<u>パルプ、紙及び板紙 - 全塩素及び有機結合塩素の試験方法</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファインセラミックス多孔体の接触応力試験方法</li> <li>・ファインセラミックス多孔体のろ過性能試験方法</li> <li>・塑性加工用マグネシウム合金板材</li> <li>・<u>微生物酸化分解試験方法</u></li> </ul>

分野	平成16年度	平成17～18年度	その他検討対象となる標準化テーマ
運輸・物流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 船用アルミニウム合金押出形材 改正</li> <li>・ 舟艇 - 動力付き舟艇から発せられる空中伝搬騒音の音圧レベル測定</li> <li>・ 舟艇 - 動力付き舟艇から発せられる空中伝搬騒音の音圧レベル測定 - 第2部: 基準艇による騒音アセスメント</li> <li>・ 船舶に用いる代替フロンの使用基準</li> <li>・ <u>自動車周囲騒音測定及び圧縮エア-排気単体騒音測定方法</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 更生ドラム</li> <li>・ ハイブリッド自動車の燃費試験方法(ステップ1)</li> <li>・ ハイブリッド自動車の燃費試験時の電気量計測基準</li> <li>・ 4WDハイブリッド自動車の燃費試験方法</li> <li>・ プラスチック製平パレット(Z0606) 改正</li> <li>・ 非接触式リライトラベルとICチップを一体化した新規物流用タグ</li> <li>・ 2次元シンボルのダイレクトマーキングに関するガイドライン</li> <li>・ 包装 環境専門用語</li> <li>・ <u>リサイクル木製平パレット</u></li> <li>・ <u>二輪自動車 - 台上モード走行燃料消費測定方法</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1軸シャシーダイナモメータ上でのハイブリッド自動車燃費試験の可否の検定と補正方法</li> <li>・ 包装 包装及び包装廃棄物の分野における規格の使用についての要求事項</li> <li>・ 包装 製造及び組成に特有の要求事項 発生源での減量による予防</li> <li>・ 包装 リユース</li> <li>・ 包装 材料リサイクルによって回収可能な包装の要求事項</li> <li>・ 包装 最小発熱量の仕様を含むエネルギー回収の形による回収可能な包装の要求事項</li> <li>・ 包装 コンポスト化及び生分解による回収可能な包装の要求事項 包装の最終製品引渡しの試験計画及び評価</li> <li>・ 包装及び材料リサイクル リサイクル手法についての基準 リサイクルプロセス及びフローチャートについて</li> <li>・ 包装 エネルギー回収率 計算の定義及び方法対応</li> <li>・ 包装 リサイクル率 計算の定義及び方法</li> <li>・ 包装 - 用語 基本述語及び定義</li> </ul>
機械	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海洋における二酸化炭素の環境計測手法</li> <li>・ PM2.5サンブラ</li> <li>・ 排ガス中の二酸化炭素自動計測器</li> <li>・ 排ガス中のメタン自動計測器</li> <li>・ 排ガス中の一酸化炭素自動計測器</li> <li>・ <u>大気中のオキシダント自動計測器 改正</u></li> <li>・ <u>排ガス中の塩化水素自動測定器 改正</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集じん用ろ布 - 第2部 - る過性能の評価方法</li> <li>・ 水用電磁弁(B8471) 改正</li> <li>・ 蒸気用電磁弁(B8472) 改正</li> <li>・ 燃料油用電磁弁(B8473) 改正</li> <li>・ 往復動内燃機関 - 排気排出物測定方法</li> <li>・ コンクリート塊再生処理用破砕機 - 用語と仕様項目</li> <li>・ コンクリート塊再生処理用破砕機 - 安全必要事項</li> <li>・ 排ガス中の一酸化二窒素(亜酸化窒素)自動計測器</li> <li>・ 試料非吸引方式による排ガス中の自動計測システム</li> <li>・ 排水中の全窒素自動計測器</li> <li>・ 排水中の全リン自動計測器</li> <li>・ 工業用燃焼炉の安全通則 改正(B8415)</li> <li>・ <u>圧縮空気 - 第5部: オイル蒸気と有機溶剤含有量の試験方法</u></li> <li>・ <u>圧縮空気 - 第6部: ガス状汚染物質含有量の試験方法</u></li> <li>・ <u>冷媒フロン回収機</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集じん用ろ布 - 第3部 - 耐久性能の評価方法</li> <li>・ コンクリート塊再生処理用破砕機 - 性能試験方法</li> <li>・ 水素漏れ検知機の試験方法</li> <li>・ <u>飲料自動販売機(缶・ボトルタイプ)の省エネルギー基準達成率の算出方法及び表示方法</u></li> <li>・ <u>産業用ロボットの環境設計適合評価基準</u></li> </ul>
情報・電気	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務機器 - 排出化学物質の測定方法</li> <li>・ 電気・電子機器の環境適合設計ガイド(IEC/新環境配慮設計(ECD)ガイド案の作成)</li> <li>・ 環境試験方法 - 電気・電子 - 鉛フリーソルダーペーストを用いた表面実装部品(SMD)のはんだ付け性試験方法(平衡法)</li> <li>・ 電気・電子機器の材料開示質問表作成ガイド(IEC/ガイド113の改正又は新ガイドの作成)</li> <li>・ 環境試験方法 - 電気・電子 - 表面実装部品(SMD)のはんだ付け性、電極の耐はんだ食われ性及びはんだ耐熱性試験方法改正</li> <li>・ 再使用部品を含む製品のデペンダビリティ - 機能性の要求事項及び試験</li> <li>・ <u>家庭用電気・電子機器の省エネルギー基準達成率の算出方法及び表示方法 改正</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境試験方法 - 電気・電子 - はんだ付け試験方法(平衡法)改正</li> <li>・ 低環境負荷形蛍光灯ランプ - 第1部: 製品規格</li> <li>・ 低環境負荷形蛍光灯ランプ - 第2部: 測定方法</li> <li>・ 製品の環境効率ポテンシャル評価方法</li> <li>・ 工作機械設計アセスメントガイド</li> <li>・ 工作機械の環境試験方法(消費エネルギーの測定方法)</li> <li>・ 3Rを考慮した環境パフォーマンス評価情報モデル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境試験方法 - 電気・電子 - ウィスカ試験方法</li> <li>・ 環境試験方法 - 電気・電子 - 接合耐久性試験方法</li> <li>・ ハロゲンフリー電源コード</li> <li>・ ハロゲンフリーキャブタイヤケーブル</li> <li>・ 密閉形ニッケル水素電池 改正</li> <li>・ 家電製品の実使用時消費電力測定方法</li> <li>・ オーディオ・ビデオ機器の消費電力の測定方法</li> <li>・ 情報技術機器の消費電力の測定方法</li> <li>・ <u>燃料電池効率測定方法</u></li> </ul>

分野	平成16年度	平成17～18年度	その他検討対象となる標準化テーマ
消費生活・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラスチック製カードケース(S6051) 改正</li> <li>家庭用屋外式ガス瞬間湯沸器の窒素酸化物排出濃度測定方法</li> <li>家庭用ガス石油暖房機器の実動モードにおけるNOx、CO2排出量の試験・算出方法</li> <li>繊維製品の皮膚一次刺激性試験方法 培養ヒト皮膚モデル法</li> <li>繊維製品の防汚性試験方法</li> <li>講義室用連結机・いす(S1016) 改正</li> <li>安全靴(T8101) 改正</li> <li>オフィス用机・テーブル(S1031) 改正</li> <li>オフィス用いす(S1032) 改正</li> <li>オフィス用収納家具(S1033) 改正</li> <li>家庭用学習机(S1061) 改正</li> <li>家庭用学習いす(S1062) 改正</li> <li>洗面化粧ユニット類(A4401) 改正</li> <li>住宅用複合サニタリーユニット(A4410) 改正</li> <li>住宅用収納間仕切り構成材(A4414) 改正</li> <li>住宅用浴室ユニット(A4416) 改正</li> <li>住宅用便所ユニット(A4417) 改正</li> <li>住宅用洗面所ユニット(A4418) 改正</li> <li>浴室用防水パン(A4419) 改正</li> <li>キッチン設備の構成材(A4420) 改正</li> <li>住宅用普通ベッド(S1102) 改正</li> <li>ベビーベッド(S1103) 改正</li> <li>二段ベッド(S1104) 改正</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>給湯機器の実動モードにおける熱効率測定方法</li> <li><u>ゲルインキボールペン</u></li> <li><u>マーキングペン 改正</u></li> <li><u>ボールペン及び中しん 改正</u></li> <li><u>水性ボールペン及び中しん 改正</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境配慮型ポリエステル繊維製品規格</li> </ul>
環境測定・廃棄物等	<ul style="list-style-type: none"> <li>用水・排水中のレジオネラ試験方法</li> <li>空気中の揮発性有機化合物検知管測定方法</li> <li>工業用水中の鉄細菌試験方法</li> <li>工業用水中の硫酸塩還元菌試験方法</li> <li>工業用水中のスフェロチルス試験方法</li> <li>工業用水中の硫黄細菌試験方法</li> <li>免疫化学測定法</li> <li>排ガス中のダイオキシン類及びコプラナーPCBの測定方法(K0311) 改正</li> <li>工業用水・工場排水中のダイオキシン類及びコプラナーPCBの測定方法(K0312) 改正</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>排ガス試料採取方法(K0095)改正</li> <li>用水・排水中のノニルフェノール試験方法</li> <li>エネルギー分散型蛍光X線分析装置を用いた土壌中のひ素、鉛含有量の試験方法</li> <li>エネルギー分散型蛍光X線分析装置を用いた土壌中のセレン・カドミウム含有量の試験方法</li> <li>環境・資源循環用語</li> <li><u>排ガス中のダスト濃度の測定方法 改正</u></li> <li><u>用水・排水中のポリクロロビフェニル(PCB)の試験方法 改正</u></li> <li><u>用水・排水中のビスフェノールA試験方法 改正</u></li> <li><u>用水・排水中のアルキルフェノール類試験方法 改正</u></li> <li><u>用水・排水中のフタル酸エステル類試験方法 改正</u></li> <li><u>化学物質等安全データシート 改正</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工場排水中の全りん、全窒素、全水銀(K 0102改正)</li> </ul>

(注) 各分野は、標準部会以下の技術専門委員会の所掌に属することを仮定して分類したものの。

- 土木建築 : 土木技術専門委員会、建築技術専門委員会
- 材料 : 鉄鋼技術専門委員会、非鉄金属技術専門委員会、溶接技術専門委員会、一般化学技術専門委員会、化学製品技術専門委員会、窯業技術専門委員会、紙・パルプ技術専門委員会
- 運輸・物流 : 自動車技術専門委員会、航空・宇宙機技術専門委員会、鉄道技術専門委員会、船舶技術専門委員会、物流技術専門委員会
- 機械 : 機械要素技術専門委員会、計測計量技術専門委員会、産業機械技術専門委員会、基本技術専門委員会
- 情報・電気 : 情報技術専門委員会、電気技術専門委員会、電子技術専門委員会、産業オートメーション技術専門委員会
- 消費生活・労働 : 医療用具技術専門委員会、福祉用具技術専門委員会、消費生活技術専門委員会、労働安全用具技術専門委員会
- 環境測定・廃棄物等 : 環境・資源循環専門委員会

各項目の丸数字は、環境政策上の必要性(社会ニーズ)に応じた分類を示したものの。

3R(リデュース、リユース及びリサイクル)製品の需要拡大に資する規格、設計、製造段階における環境配慮に資する規格、地球温暖化対策に資する規格、製品における有害物質対策に資する規格、環境汚染対策に資する規格